



三番瀬(猫実川河口付近)



食育活動の一翼を担う学校給食

福 祉

市営住宅耐震補強工事

鈴木啓一議員(ボランティア)
市営住宅塩浜団地は、築30年以上が経過し、老朽化が進んでいる。今回、建て替えてなく、耐震補強工事

**補強部分張り出し 全く日が差さない
早期解決に向けて努力していく**

を行ったが、補強部分が大きく張り出し、ベランダに全く日が差さず、洗濯物を満足に乾かせない。現場を確認したことだが、対応策ができていない。真剣に住民要望と向き合い、解決策を講じるべきである。現在、既成の物干しではなく、ベランダから補強部分の前までスライドができ、安全性等の課題をクリアできる製品を、物干しメーカーや機械部品メーカーに依頼している。今後も住民要望にそって、早期解決に向けて努力していく。

高齢者等の災害時要援護者対策

浅野さち議員(公明党)
市民は、首都圏直下型地震を始め、あらゆる災害に不安を抱えている。特に障害者からは、災害時どこ

**福祉避難所の収容計画は
開設予定施設と協議して計画を整備**

に避難したら良いのかとの声を聞く。高齢者、障害者等に特に配慮した福祉避難所について、市の取り組みと具体的な収容計画を問う。

答 福祉避難所は市の公共施設に開設する予定で、福祉関係の職員を配置する。また、施設での対応が必要となる場合は、社会福祉施設等への支援要請を行う他、ボランティア団体と連携し、支援員の確保に努める。収容計画については、開設予定施設と協議しながら、計画の整備に努める。

教 育

学校給食における食育

宮田かつみ議員(自由民主党)
飽食の時代と言われ、子どもたちの食事や生活の乱れが指摘される昨今、市でも学校での食育に取り組ん

**効果あげるため今後どう取り組む
学校内の全教育活動の中で展開する**

でいるが、結果として大量の残菜が出ているという。食育の効果、あるいは今後食育のあり方と取り組みに関する認識を問う。

答 平成23年度の残菜量は22年度とほぼ同様であり、従前以上に生産者への感謝の心や栄養摂取の大切さ等の理解を深めるため、食育活動を推進していきたい。学校給食は、食及び食習慣への理解等を含む生活きた教材である。学校の全教育活動の中で食育を展開し、また家庭や地域との連携も大事だと考えている。

武道必修化

寒川一郎議員(みらい)
平成24年度から、中学校の授業で武道が必修化されることに伴い、文部科学省から柔道の授業で扱う技が

**柔道の初心者はどう指導するのか
モデル的な指導計画を作成していく**

例示され、その中には大外刈りなど、頭部を打つ可能性の高い技もある。初心者の技の自由練習は1・2年生の授業で扱わないことを検討するなど、安全な授業ができるよう指導していく。

答 市では、県の指導資料を参考にモデル的な指導計画を作成し、各学校への配布を考えている。また、後方に投げられ頭部を打つ可能性のある大外刈りや投げ技の自由練習は1・2年生の授業で扱わないことを検討するなど、安全な授業ができるよう指導していく。

職 員

職員組合

石崎ひでゆき議員(みんなの党)
市役所本庁舎内に職員組合が占有する事務所等があるが、使用料を徴収しているのか。また、組合事務所

**組合事務所等の使用料の徴収は
一部を除き免除 適切な運用を進める**

の前に掲示板があるが、掲示物の中には、公共施設に掲示すべきでない内容のものもあると見受けられる。市は、掲示物の内容をチェックしていないのか。

答 現在、組合事務所等の使用料は一部を除き免除している。今後は市有財産の使用を許可する際には、使用料の徴収を原則として、減免規定の内容を見直すなど、適切な運用をするように進めていきたい。また、掲示物については、今は規則に則り内容をチェックしていく。

職員採用試験

加藤武史議員(自由クラブ)
職員採用に当たっては、筆記試験は多少劣っていたとしても、本市の職場に必要な能力を持っていると判

**スポーツ等の実績者の推薦枠導入を
平成24年度は一部の試験に実績考慮**

断できる者については、採用すべきであると考える。他市では、高卒・大卒者等を対象にして、スポーツ・文化・芸術等の実績者の推薦枠を設けているが、本市

でも導入すべきではないか。

答 スポーツ等で実績を残した者の中には、その才能に加え、継続性や忍耐力があるなど、本市職員として活躍が期待できる者も多いと認識している。詳細は検討中だが、平成24年度は、一部の試験にスポーツ等の実績を考慮する方法を取り入れたいと考えている。

環 境

三番瀬の人工干潟構想

谷藤利子議員(日本共産党)
猫実川河口の泥質域は、干潟特有の多様な底生生物が生息する貴重な場所である。市は三番瀬の人工干潟

**生物への影響を懸念 どう認識
順応的管理行い少しずつ進めたい**

構想に関して、塩浜2丁目護岸の前面に大量の砂付けを行うとしているが、猫実川河口域への影響が懸念される。市は猫実川河口域の価値をどう認識しているか。

答 護岸前面への砂付けは、市民が安全に安心して海に親しめるため、平成25年の護岸完成に合わせた実施を県に要望している。猫実川河口泥質域の生物多様性は市も認識しており、砂付けも、生態系への影響を確認し順応的管理を行いながら少しずつ干潟化を進めるのが望ましいと考えている。

ユスリカ対策

堀越 優議員(公明党)
ユスリカが大量に発生し、駆除の要望が多く寄せられているが、一向に改善されていない。道路の側溝や水

**側溝や水路の汚泥が原因 対策は
現地調査しバキューム車で清掃**

路の底に汚泥が溜まっていると、汚泥に卵を産み、それが幼虫となって、ユスリカが発生する原因となっていると考える。対策をどのようにしていくのか。

答 ユスリカ対策には、幼虫や卵を駆除することが、最も効果的であることは市も認識している。今後は可能な限り、発生している場所の現地調査を行い、側溝や水路の汚泥の堆積状況等を確認し、薬剤散布の前に、バキューム車による汚泥のしゅんせつや清掃を行い、事前の駆除に努めていく。